

# 愛知県感染症情報

平成 13 年第 35 週（8 月第 5 週）

（コメント）

病原性大腸菌感染症の報告が目立ちますので注意してください。

（定点の先生方からのコメント）

● 尾張西部地区

- ・ 感染性胃腸炎 サルモネラ O9 1 歳男  
（一宮市 後藤小児科医院）
- ・ アデノウイルスによる腹部症状が重い患者さんが 2 例ほどありました。O8 15 歳女  
（尾西市 城後小児科）
- ・ 病原性大腸菌 O1 1 人、マイコプラズマ肺炎 1 人。  
（犬山市 武内医院）
- ・ 流行している感染症少ないです。  
病原性大腸菌 O25 VT(-) 7 歳女。  
（江南市 みやぐちこどもクリニック）
- ・ マイコプラズマ肺炎（8 歳女，9 歳女）。伝染性単核症。  
（春日町 丹羽医院）

● 尾張東部地区

- ・ 病原性大腸菌（O1 3 歳男、O15 3 歳男）カンピロバクター腸炎 15 歳男。まだアデノウイルス感染症（咽頭結膜熱、アデノチェック陽性扁桃炎）がみられません。  
（瀬戸市 津田こどもクリニック）
- ・ 今週は特に目立った感染症の流行はありませんでした。26 歳女性、カンピロバクター、病原性大腸菌（O1）同時に検出。経過良好。  
（尾張旭市 佐伯小児科医院）

\* 34 週報で瀬戸市 佐伯小児科医院とあったのは、尾張旭市の誤りでした。

- ・ ムンプス 予防接種済みである。麻疹 姉より（先週）感染  
（半田市 医療法人林医院）
- ・ 今週も麻疹がみられました。他に乳幼児の高熱の上気道炎が流行しています。  
（春日井市 かちがわ北病院）

- ・ 0157 ベロトキシン（ - ） 1 歳女  
（小牧市 志水こどもクリニック）
- ・ ムンプス髄膜炎数名あり。  
（小牧市 小牧市民病院）
- ・ 腸炎サルモネラ O8 2 ヶ月女  
（東海市 小児科ハヤカワ医院）
- 西三河地区
  - ・ 病原性大腸菌（0153 3 歳男、01 1 歳男）  
（豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック）
  - ・ 帯状疱疹 1 歳 2 ヶ月女 5 月に水痘  
（豊田市 医療法人やふそ小児科）
  - ・ 10 ヶ月の男児の結膜から、淋菌を検出しました。父親が淋菌感染症で通院していました。  
（豊田市 梅坪クリニック）
  - ・ 病原性大腸菌 O1 VT（ - ） 1 歳男。サルモネラ O9 4 歳男  
（岡崎市 花田こどもクリニック）
  - ・ サルモネラ O7 2 歳女  
（岡崎市 にいのみ小児科）
  - ・ 病原性大腸菌 O1（1 歳男、24 歳女）病原性大腸菌 O6 1 歳女、  
腸炎ビブリオ 31 歳男、サルモネラ O13 5 歳男  
（岡崎市 川島小児科水野医院）
  - ・ 病原性大腸菌 O18 VT（ - ） 2 歳、カンピロバクターと病原性大腸菌 O25 VT（ - ） 7 歳、病原性大腸菌 O25 VT（ - ） 4 ヶ月。  
（幸田町 とみた小児科）
  - ・ 4 歳男児の流行性耳下腺炎は、ワクチン歴があります。  
（碧南市 永井小児クリニック）
  - ・ ヘルペス口内炎 2 歳男、ヘルペス歯肉炎 2 歳女、全体に感染症は減少。  
（西尾市 山岸クリニック）
- 東三河地区
  - ・ サルモネラ腸炎（先週検体分） 10 歳男  
（豊橋市 富田小児科）
  - ・ 急性気管支炎 RSV（ + ） 1 歳男  
（蒲郡市 蒲郡市民病院）

( 1 ~ 3 類感染症の発生状況 )

腸管出血性大腸菌感染症患者 5 名

- ・ 田原保健所から報告の 6 歳男。8/22 発病、8/23 初診、8/28 診定。  
菌型は、0157 VT2 ( + )。
- ・ 春日井保健所から報告の 47 歳男 ( 8/26 発病、8/28 初診、8/31 診定 )。19 歳男 ( 8/26 発病、8/27 初診、8/31 診定 )。菌型は 0157 VT1・2 ( + )。
- ・ 春日井保健所から報告の 5 歳男。8/24 発病、8/27 初診、8/29 診定。  
菌型は、026 VT1 ( + )
- ・ 西尾保健所から報告の 1 歳男。8/26 発病、8/27 初診、8/31 診定。  
菌型は、0157 VT1・2 ( + )。

腸管出血性大腸菌保有者 1 名

- ・ 足助保健所から報告の 19 歳女。8/23 初診、8/28 診定。菌型は、  
0157 VT2 ( + )。

( 全数把握の 4 類感染症の発生状況 )

報告はありません。

第 33 週 ( 8 月 13 日 ~ 8 月 19 日 ) の 4 類感染症の全国状況

流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は、過去 5 年間の同時期と比較してかなり多くなっている。都道府県別では石川県 4.93 、福井県 3.91 、佐賀県 3.52 などの報告が多かった。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は、過去 5 年間の同時期と比較してやや多くなっている。

( Infectious Diseases Weekly Report より抜粋

厚生労働省感染症研究所感染症情報センター感染症情報室提供 )

2001 年 7 月 13 日号 (76 巻 28 号)

血清型 W135 による髄膜炎球菌髄膜炎：続報。

2001 年になってから下記諸国で W135 髄膜炎球菌髄膜炎の発生が WHO に届けられている。殆どがサウジアラビア旅行者か同国旅行者と接触した例である。ブルキナ・ファソ、ニジェール：4 月中旬～下旬、両国の発生例から W135 型分離・同定。中央アフリカ：メッカ巡礼者 3 例。デンマーク (2 例)、フランス (6 例)、ノルウェー (4 例) が巡礼者や巡礼者との接触者で発病。サウジアラビア 109 例 (死亡 35 例)、シンガポール 4 例、英国 41 例 (死亡 11 例)：多くはメッカ巡礼者か巡礼者の接触者。

ギニア虫 (寄生虫症。中間宿主はミジンコ。生水を飲んで感染。成虫は腸管から全身に広がって下肢の皮下に寄生、産卵。重篤な皮膚炎などの原因となる。世界規模で撲滅運動が展開されている)：ケニアの状況について 01 年 5 月に WHO 専門家による常存地の立入り調査が実施された。同国の常存地である 3 地区でス・ダンからの輸入例主体で何例か発見、今後の方針として 正確な村単位の症例数の登録 (ポリオの地域単位の調査と平行して実施)、住民教育が重要となるが隣国のス・ダンやエチオピアからの難民問題もあり NGO を中心とした地区保健活動者養成が急務となっている。

インフルエンザ (01 年 6～7 月)：アルゼンチン。A (H3N2)。ブラジル。A 型と B 型。ニュージーランド。A (H1N1)、B 型。

2001 年 7 月 20 日号 (76 巻 29 号)

レジオネラ症：スペイン。7 月 11 日までに 470 例 (死亡 1 例)。確定診断例 178 例大半の例がムルシア市北地区住民で旅行者はいない。共通の感染源として給水塔が予測され現在検索中。

黄熱ワクチン副作用：96 年～01 年の報告。7 例 (死亡 6 例)。安全性について注目されているが、頻度について正確な資料がない。ただ過去 4 年間で全世界で 1 億 5 千万が接種されていて副反応例は上記のようでありブラジルでは 5 千 4 百万接種あたり 2 例となっていて、黄熱の重要さを考えると接種は続行されるべきと思われる。

新興・再興感染症：本邦厚生省の助成のもとに 97 年に開始された国際協力事業団、感染症研究所、長崎大学、熊本国立病院、九州大学などによる国際調査。全世界 45 定点で開始、現在 61 定点が E-mail による情報交換を実施している (世界地図)。具体的な事例として西アフリカ、北東アフリカ、中南米、東南アジアにおける B 肝、C 肝、HIV、梅毒の献血の抗体陽性率が一覧表としてまとめられている。

インフルエンザ (01 年 7 月)：アルゼンチン。A 型。

7 月 13 日 - 19 日届出

コレラ：チャド、ガナ、ケニア、トゴ、中国、香港。

平成13年9月6日

愛知県感染症情報

愛知県衛生研究所企画情報部（文責 磯村）

朝夕の電車が高校生や中学生で混雑するようになりました。秋雨前線という言葉がTVに出てくるようになりました。いつも貴重な情報を有難うございます。8月後半のまとめをお送りします。

1. 名古屋市内：気候が良くなり全体としては感染症の大発生はないようです。千種区今枝先生からは感染性胃腸炎、伝染性紅斑、突発疹、三菱病院岩間先生からも突発疹と感染性胃腸炎が散発中でマイコプラズマ肺炎とヘルパンギ-ナの入院あり、中京病院柴田先生からはサルモネラ・カンピロバクタ-による感染性腸炎とムンプス髄膜炎が少しづつあり、大同病院水野先生からはマイコプラズマ肺炎、発熱・下痢または嘔吐（培養陰性、時にサルモネラ検出）あり、感染性腸炎に引き続いて腸重積を発症する例が異常に多く、他院の先生からも同様の情報をいただいているとのお手紙をいただきました。

2. 尾張地区。犬山市武内先生からは水痘、ムンプス、手足口病、感染性胃腸炎がそれぞれ散発中、江南市昭和病院西村先生からはアデノウイルス感染症、クラミジア肺炎の入院が目立つ、常滑市民病院上田先生からはムンプス、水痘、手足口病、伝染性紅斑、ウイルス性胃腸炎、夏カゼ、無菌性髄膜炎、ムンプス髄膜炎やマイコプラズマ肺炎が目立つとのご報告でした。

3. 三河地区：豊田地区では減少はしましたが麻疹がまだ流行中で合併症による入院例が目立っています。マイコプラズマ肺炎、サルモネラ腸炎が多発しています（トヨタ病院木戸先生、加茂病院梶田先生）。岡崎市民病院系洲先生からは不全型川崎病目立つ、安城更生病院小川先生からは水痘、ヘルパンギ-ナが発生中で伝染性膿痂疹もよく見かける、知立市近藤先生からはサルモネラ腸炎、カンピロバクタ-腸炎各1例、39～40が4～5日出るウイルス感染症あり、マイコプラズマ肺炎あり、碧南市永井先生からはムンプスと手足口病散発、豊橋市宮澤先生からはムンプス、咽頭結膜熱、マイコプラズマ肺炎などが少数例ありとのお手紙でした（宮澤先生）。有難うございました。